

雜報

● 敘任及辭令

任青島守備軍民政部醫官

鏡高等官七等

七級律下賜

青島守備軍民政部醫官

笹原竹三

笹原竹三

(十二月二十四日)

陸軍一等軍醫從六位

簡野松太郎

任陸軍三等軍醫正

陸軍一等軍醫從六位勳五等

矢野貞

任陸軍三等軍醫正

陸軍二等軍醫從七位勳六等

遠山久大

任陸軍一等軍醫

陸軍二等軍醫從七位

下瀬政三

任陸軍一等軍醫

任陸軍三等軍醫

任陸軍三等軍醫

任陸軍三等軍醫

任陸軍三等軍醫

陸軍軍醫學校教官陸軍三等軍醫正

簡野松太郎

免本職陸軍軍醫學校附被仰付

補步兵第四十二聯隊附

陸軍一等軍醫 下瀬政三

步兵第六十三聯隊附陸軍二等軍醫 八井田茂實

免本職補雜知衛戍病院附

步兵第六十二聯隊附陸軍一等軍醫 田中榮一郎

免本職補輜重兵第十八大隊附

對馬重砲兵大隊附陸軍一等軍醫 遠山久大

免補本職騎兵第十九聯隊附

步兵第七十一聯隊附陸軍三等軍醫 中村慶藏

免本職補廣島衛戍病院附

野砲兵第二十聯隊附陸軍一等軍醫 藤掛三郎

免本職補野砲兵第十九聯隊附

步兵第十二聯隊附陸軍三等軍醫 越智五七

免本職補大阪砲兵工廠附

步兵第五十聯隊附陸軍一等軍醫 矢澤弘水

免本職補松本衛戍病院附

陸軍三等軍醫 內山友吾

補步兵第六十一聯隊附

陸軍三等軍醫 正木豐

補步兵第八聯隊附

陸軍三等軍醫 須之内權三

補步兵第十二聯隊附

陸軍三等軍醫 川北伊勢吉

補步兵第二十一聯隊附

步兵第三十二聯隊附陸軍三等軍醫正 矢野 貞

野砲兵第八聯隊附陸軍一等軍醫 山田 尙忠

免本職待命被仰付

陸軍三等軍醫 肥野 藤貞夫

依願豫備役被仰付

(十二月二十五日)

朝鮮總督府道慈惠醫院醫官
長兼朝鮮總督府醫院醫官

須藤 五百三

依願免本官並兼官

從六位勳五等

大河内 孝一

敘正六位

從六位勳五等

大河内 孝一

陸軍三等軍醫正從六位勳五等

大河内 孝一

特旨ヲ以テ位一級被進

海軍軍醫少監

若月 館一

免佐世保鎮守府附補出雲軍醫長

朝鮮總督府道慈惠醫院醫官

須藤 五百三

二級俸下賜

朝鮮總督府道慈惠醫院醫官

三谷 盛國

黃海道海州慈惠醫院長事務取扱ヲ命ス

(十二月二十七日)

●學生退校 大正六年第二回陸軍軍醫學校學生中左記の

本會會員諸君は本月十五日退學せり

專攻學生

陸軍一等軍醫

森 本 末 吉

陸軍二等軍醫

安 田 仙 次 郎

普通學生

陸軍二等軍醫

石 井 義 章

陸軍二等軍醫 九川 千基

陸軍二等軍醫 小林 英輔

陸軍二等軍醫 藏 本 貢

陸軍二等軍醫 西 田 熙 治

陸軍三等軍醫 金 光 三 郎

右の内藏本貢君は成績優等に付銀時計を下賜せられたり

●人事彙報

○廣瀨耕一君 豫て米國留學中なりし同君は本月四日無事歸朝せられたり因に記す君は依然岡山醫學專門學校助授として教鞭を取り又岡山縣病院内科副醫長として診療に従事せらる

○清岡直君 は先般大阪市西區京町堀上通二丁目に移居せられたり

○村田松五郎君 は今般山口縣豐浦郡瀧部村に移轉せられたり

○半井鐵道君 は豫て廣島縣深安郡市村に於て開業し居られしが今般京都市下京區油小路通り北小路角玉本町に移轉せられたり

○由井源七郎君 は先般郷里松山市三番町に於て内科專

門にて開業せられたり

○松岡静雄君 は豫て九州醫科大學眼科教室に於て研究中なりしが今般大分縣四日市町に開業せられたり

○清水憲介君 は先般より廣島大手町四丁目に於て開業せられたり

○山本義雄君 は昨年岡山醫學專門學校卒業後同校醫化學教室に於て、研究中なりしが今般京都醫科大學醫院烏蘭内科教室に勤務せられたり

○井林清治君 は今回北海道旭川區近文谷口病院に勤務せられたり

○佐藤薫君 は豫て北海道雨龍郡雨龍村に開業し居られしが今回東京市牛込區原町三ノ五九に移轉せられたり

○上田保令君 は豫て大阪市に於て開業し居られしが先般嚴君死去せるを以て歸郷(大阪市北河内郡豐野村)開業せらる

○早川清雅君 は今回北里研究所に於て開催の第六回傳染病學微生物學講習に出席の爲め上京せられたり

○中野太郎君 臨時南洋群島防備隊附としてトラック島に勤務中の同君は既記の如く十二月一日附にて横須賀海軍病院に轉勤を命せられ本月下旬歸着せられたり

生田龍太郎君逝く 君は明治二十五年第三高等中學校醫學部を卒業し直ちに岡山縣病院外科に勤務し後郷里徳島縣牟岐町に於て開業し居られしが舊臘二十八日急病にて逝去せられたりと洵に哀悼の情に堪へざるなり

木戸純君逝く 君は明治四十年岡山醫學專門學校を優等の成績を以て卒業し直ちに岡山縣病院産婦人科に勤務し故佐藤松介君に就て研究し同君の逝去後岡山醫學專門學校産婦人科講師となり後其職を辭し當市西中山下に於て開業し其手腕を揮ひつゝありしが本月六日突然病を以て逝去せられたり洵に痛惜に堪へざるなり